

通信簿のつけ方

議員活動に必要な力を5段階で評価↓

政策	まちを良くするアイデアの力	4
研究	情報収集や調査・分析の力	4
発言	話し合いて意見を言う力	5
政治	合意をつくるための調整力	3
広報	自分の活動を伝える発信力	2

「政策」は、選挙前に提案した分野別にも評価↓

子育て支援	安心して子育てできるまち	A
世代間交流	地域活動を家族で楽しめるまち	C
IT化促進	市民サービスの満足度が高いまち	A

川本や他議員の議会での発言は、議会傍聴や市議会YouTubeチャンネルでご覧いただけます

市議会って、どんな所?

市議会は、守山市(市長や市役所)がどんな仕事をするかを話し合っている所です。

年間で約**340億円**のお金と、**600人以上**の市職員を動かします(2020年度決算)。

議員全員で多数決する「本会議」は**年に4回**、3月・6月・9月・12月に開催されます。

他にも「委員会」「勉強会」など、正式なものだけで**年100回以上**の会議を行います。



議場(ぎじょう)

本会議には、市の三役(市長・副市長・教育長)と部長級職員が参加。議場近くの控室にも多くの職員が待機しています。また、本会議で話し合うまでも、委員会や勉強会など多くの事前協議があります。

市議会議員

守山市の議員数は20人。いくつかの会派(グループ)に分かれていますが、異なる会派で連携・交流することも多いです。議員報酬(お給料)は月額38万2000円、政務活動費(経費)は年間25万円です。



川本航平おしゃべり会

市民の皆様の声をお聞きするために、お申込みいただいた方と少人数で話す会を開催します。ご意見・ご要望のほか「議員と話してみたい」「川本の事を知りたい」などでも大歓迎です。初めての方は1対1や匿名のzoom会議でも実施可能です。お気軽にご連絡ください。

学生インターンシップ

夏休み・春休みなどの期間に、1~2か月間の学生向けインターンシップを行っています。活動内容は調査・研究補助や広報活動の体験、社会人とのコミュニケーション経験など。政治に興味がない人も歓迎です。参加希望の方はお気軽にお問い合わせください。

市議会動画
アーカイブ



川本航平の
個人SNS



【お問合せ】 電話：090-6752-6869 メール：manabinosk@gmail.com

守山市議会議員

かわもと こうへい
川本 航平



議員がどんな仕事をしているか、ご存じですか?

守山市議会の**最年少議員**が、

2年間の自己評価を「通信簿」にまとめてみました

1986年守山生まれ
立入が丘小・守山中
膳所高・神戸大学卒

公式LINEはこちら→

議員公式ホームページは近日公開



2019年10月に初当選させていただき、議員活動を開始してから2年が経ちました。2020年3月以降は、コロナ禍での給付金・助成金やワクチン接種にも対応しています。

今年9月には「決算委員会」の委員として、昨年一年間の決算(お金の使い方)を審議。これで、「予算」から「決算」まで一連の流れを議員として経験したことになります。今回は2年間の活動を振り返り、活動内容や今後の展望についてご報告します。

- ぜひ、中面(見開き)の**通信簿**をご覧ください。
- **ご意見・ご感想**や**皆様の評価**も、お聞かせください。

※ ご連絡先は背面へ。おしゃべり会やインターンシップも募集しています。

活動アルバム



初出馬・初当選

右も左も分からない初めての選挙でしたが、皆様のご支援のおかげで当選することができました。



議員として活動開始

当選した議員20人と事務局で一つのチーム。市役所の職員や市長と様々な議論をします。



市役所内の議員控室

デスクワークや打合せに使うことができます。他の会派の議員さんが来てくれる事も多いです。



本会議での個人質問

制限時間30分の中で自由にテーマを決めて、市長や市の幹部職員と意見交換します。

議員活動の自己評価

政策 4	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 教育分野やIT分野で、いくつかの提案が取り入れられました(右ページ)。 ○ 国の方針や市の考えを理解した上で、現実的な意見・提案をしました。 △ より大胆な提案を実現するために、アイデアの精度を向上したいです。
研究 4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先進事例の情報収集や、専門家との意見交換を積極的に行いました。 ○ 多くの先輩議員から、複数の分野で「詳しいね」と認められました。 □ 市職員や関係者との関係づくりは、今後も継続して行っていきたいです。
発言 5	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 委員会や個人質問で積極的に発言し、意見書や要望書も提出しました。 ○ 先輩議員から「川本君のような指摘が必要」と後押ししてもらいました。 □ 質の高い議論のため、今後も行政側の考えを理解していきたいです。
政治 3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の議員とフラットに意見交換し、気軽に話せる関係ができました。 □ 情報面でも議会運営の面でも、無所属のハンデは感じませんでした。 △ 自分の意見を通していくために、落とし所を設定する力を高めたいです。
広報 2	<ul style="list-style-type: none"> □ インスタやFacebookなどで分かりやすい情報発信を心がけました。 □ 議会だより編集委員会として、議会の情報発信にも貢献しました。 △ より幅広い声を聴くためにも、個人の発信を強化していきたいです。

問題意識



新型コロナ対応や福祉・子育て支援などについて皆様の声をお聞きする中で、「市役所と市民のコミュニケーション不足」を感じる事が何度もありました。より良いコミュニケーションによって市民の納得度・満足度を高めるためには、市の事業や意思決定に市民を巻き込む「市民参加の推進」が大切です。10月から副委員長を務める議会改革の委員会でも積極的に進めていきます。

ライフワーク

議員の仕事とは別に、2017年から発達支援に関わっています。発達障害など「個性の強い子」向けの学習教室の代表や、発達障害関係者をネットワークするNPO法人の理事を務めています。

「一人ひとりが個性を生かして活躍できる社会」を目指して。家庭、職場、学校、ご近所といったコミュニティの課題を一つずつ解決していきたいと考えています。



政策の自己評価

子育て支援

A

住みやすいけれど、子育ては不安

「安心して子育てできるまち」へ



メンタルヘルス予防教育

- ◎ 小学校でのメンタルヘルス予防教育、浮気保育園の施設修繕など、個人質問や予算要望で意見した内容が反映されました。
- ◎ 「子育て特別委員会」の委員として、待機児童ゼロを実現しました。
- 子育て支援の情報発信、保育サービスの充実、支援の連続性、発達支援システムの発展なども指摘し、引き続き議論していきます。
- △ 今後は、子育て家庭の声を幅広く聞く機会も作っていきたいです。



予算要望書の提出

世代間交流

C

地元愛はあるが、仕事や育児で手一杯

「地域活動を家族で楽しめるまち」へ



議会学習会で答弁



中高生サミット視察

- タウンミーティングなど市民参画の手法について繰り返し意見し、自身も「小6議会学習会」や「中高生サミット」などに参加しました。
- 居場所づくり、健康づくり、防災などの分野に特に注目しています。
- △ 新型コロナの影響で、まちづくり分野の議論は進みませんでした。
- △ 高齢福祉や障害福祉の分野は国の制度に則って行うことが多く、政策提案のためにより綿密な研究が必要だと感じています。

IT化促進

A

市役所や公共施設のIT化が遅れている

「市民サービスの満足度が高いまち」へ



学校でのタブレット活用

- ◎ 個人質問でIT化を専門的に進める部門の重要性を訴えた結果、2021年度から新たに「ICT政策課」が設置されました。
- 公共施設の利用をオンライン予約できるシステムが導入されました。
- 小中学校で、一人一台タブレット端末の配備・活用が進みました。
- 行政のIT化は市民「全員」が対象という難しさもありますが、市民サービス向上のために行政改革と合わせて進めていきます。



Zoom研修の企画運営